



学校通信

平成31・令和元年度 第8号
令和 元年12月 2日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

代表委員会が取り組む『よいところみつけめいじん』キャンペーン

校長 岡部 良美

11月5日から15日までの期間、児童代表委員会による『よいところみつけめいじんカード』キャンペーンが、昨年度に引き続き行われました。4月の入学式・始業式に、私が子供たちに話したこと、

開三小の1年間のめあては、みんなが『よいところみつけ名人』になることです。この意味は、「自分のよいところ」も「友達のよいところ」も見付ける名人のことです。
一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してくれたところなどを見付けましょう。

が子供たちの意識の中に繋がっていて、うれしい限りです。

今年の代表委員会のキャンペーンには、子供ならではのアイデアがありました。それは、「よいところみつけ名人になれる目標値」としてよいところを見つける数を1・2年生は5個、3・4年生は10個、5・6年生は15個と定めたことです。今回のキャンペーンで、5,445個（昨年度は2,560個）のよいところが見つかりました。一人ひとりのカードには、代表委員からの励ましの言葉が書かれています。開三小の子供たちはみんなが「よいところみつけ名人」に成長しています。キャンペーンカードに書かれた子供たちの振り返りを一部紹介します。（原文）

「ひとのよいところをみつけられて、うれしかった。みんなのよいところがいっぱいあってみつけやすかった。」（1年）

「よいところみつけめいじんカードをしてよくかんがえてみたら、1日にたくさんのよいところがあった。これからも人のよいところをたくさん見つけたいです。」（2年）

「ぼくには、やさしい友だちがいっぱいた。こんどからはいいところをふやしたい。自分のいいところを見つけれよかったです。」（3年）

「よく見ていると、思いやりのある心でさっさと手つだってくれる人がいっぱいいて、すごいなと思いました。」（4年）

「少し気にするだけで周りの人の良いところをたくさん見つけられた。

いつもいやなイメージしかなかった友達も少し良いイメージが出てきて、この人も友達になれるかなと少しわくわくして楽しかったです。」（5年）

「このキャンペーンをして、私はあまり友達の良いところに気付いていなかったことが分かりました。これからは気付けるように頑張りたいです。」（6年）

「接点がない人でも話してみると気が合ったりしました。良いところを見つけることで、仲良くなれました。」（6年）



11月29日（金）の音楽集会。全校で歌った曲名は『ともだちはいいもんだ』。音楽委員会の子供たちがいろいろな楽器で曲を奏で、委員長の6年生が全体のよさを引き出す指揮を行い、歌声が体育館いっぱいに響きました。一度歌った後に委員長が全体に向けて、「1・2・3・4年生は元気な声で、5・6年生は美しい歌声で素晴らしかったです。今度はそれぞれのよいところを聴き合いながら歌いましょう。」と感想を伝えました。委員長の言葉の効果で2度目は全校が一つになり、友達のよさを実感しながら歌うことに繋がりました。教職員全員による褒めて誇りと自信をもたせる指導が、子供たちの『よいところみつけ名人』の取組意欲を高めています。